

第2回ほたる多職種研修会アンケート結果

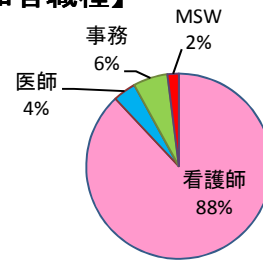
平成23年11月11日(金)17:50～19:00 荘内病院3階講堂

参加者54名 アンケート協力者50名

●参加者職種

看護師	44
医師	2
事務	3
MSW	1
合計	50

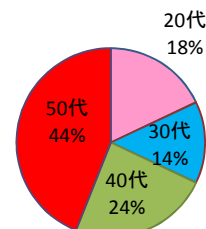
【参加者職種】



●参加者年齢

20代	9
30代	7
40代	12
50代	22
合計	50

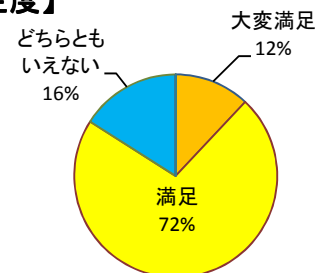
【参加者年齢】



●本日の研修会の満足度はいかがでしたか？

大変満足	6
満足	36
どちらともいえない	8
やや不満足	0
不満足	0
合計	50

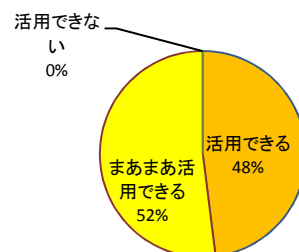
【満足度】



●今回の講演内容は今後の業務に活用できますか？

活用できる	24
まあまあ活用できる	26
活用できない	0
合計	50

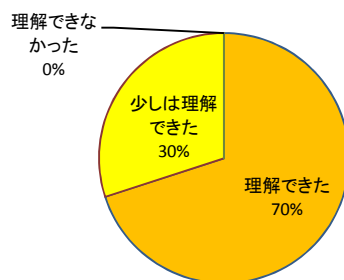
【今後の業務に活用できるか】



●講演を聞いてケアマネジャーの業務について理解できましたか？

理解できた	35
少しは理解できた	15
理解できなかった	0
合計	50

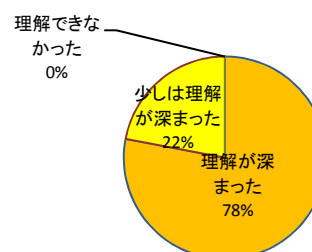
【ケアマネ業務を理解できたか】



●ケアマネジャーとの連携の必要性について理解が深まりましたか？

理解が深まった	39
少しは理解が深まった	11
理解できなかった	0
合計	50

【ケアマネとの連携の必要性について】



●その他ほかに何かご意見ご感想等あればご自由にお書き下さい。

- ・ほかの事例も聞きたかった。
- ・スムーズに連携ができるよう協力しますのでよろしくお願いします。
- ・患者、家族がどのタイミングで誰に不安を話せば良いか分からないというのは、「退院」に対する医療者との見方にズレが生じているからというのは常々感じていることです。なるべく入院時から退院後の生活をイメージできるように対応はしているが、そういう患者の家族は面会にくることが少ないと感じられます。ケアマネジャーとの連携うんぬん以前の問題かと思うことも多々あります。
- ・「退院前に連絡が欲しい」というのは大体どのくらい(何日前)なのでしょう？家族へそういった説明もしているのでしょうか？
- ・実際の現場であるような事例の話聞き、改めて早期に退院調整が必要であることを感じた。
- ・また家族は、悩んでいても、私達医療従事者には伝えにくいので、こちら側からの働きかけが本当に大事であると感じた。
- ・入院後、早い段階での退院調整がいかに大切か再認識できました。
- ・退院に向け、事前に動く家族に声をかけることをより意識し、援助していきたいと感じた。
- ・退院調整の難しさを感じたことはあります。入院時の時点でのケアマネの利用等が分かるだけでも違うのかなとも思います。庄内プロジェクトの退院カンファレンスにも参加した事がありますが、患者さんを取り巻くスタッフが顔を合わせて話ができるのは良いことだと思いました。(資料などの作成は大変ですが…)
- ・知識不足を感じており、介護保険等について学ぶことが必要と思った。
- ・連携の必要性について再認識できました。
- ・医療行為で地域に受け入れる施設がなく、ショートステイもできない患者、家族もいると思います。365日、家族は気が休まらない。救われる場所がない。
- ・ご家族には、病院に入院していれば見てくれる人もいるし安心だっという気持ちになるのも分かるんですが、日頃から面会に来てもらいたい。
- ・胃ろうで退院しなくてはいけない時、入院中どのように過ごしていたか等家族は知るべきではないでしょうか。入院中の生活を知らないと退院してからのイメージがつかないと思う。説明だけではイメージがつかない。家族会議をしっかりとこなしてほしい。
- ・入院した時から、医師も看護師もENT視野に入れた関わりが大切だと思った。
- ・ケアマネさんは、いつでもご家族の味方であってほしいし、ご家族へ本人へ便利で安心できる情報提供サポートをしてほしいと思っています。私もケアマネさんにお世話になりましたが、とてもよくしていただき、よく覚えています。
- ・寝たきりを予防出来れば理想だが、点滴したり食事介助したり、おむつ交換、体位変換するので精一杯な現状。その人の尿意に合わせて(タイミングを見計らって)トイレまで誘導するのは無理。マンパワーが必要。